



ほんなこてゆたたり



文責 校長 平井 敏博

令和4年度教育目標 目指すは、“とことん学び続け、とことん学び合う人”

“とことん名人”への道

～こんなこと、始めました。しかし、第1弾、失敗の巻～

教育目標を、“絵に描いた餅”にするわけには、いきません。掲げた目標を、いかに達成するかが、重要になります。

先週12日(木)に、リモートによる全校集会を開きました。校長の話の中で、今年度の学校目標(上記の令和4年度教育目標)を、子ども達に紹介しました。そして、

「みんなで、“とことん名人”を、目指しましょう。どのようにすれば、“とことん名人”になることができるのか、“とことん名人”への道として、19日(木)までに発表します。」

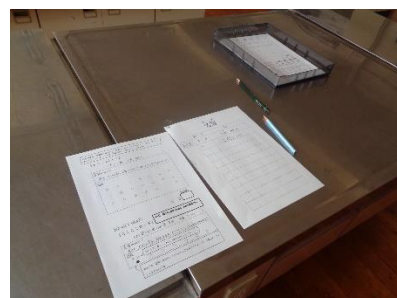
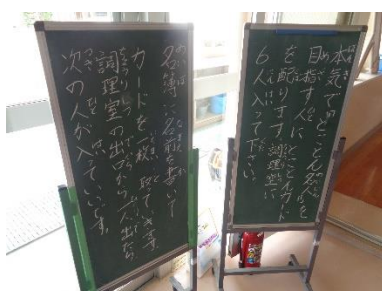
と宣言し、本日、その日が来ました。そして、発表したのが、“とことんカードの使い方”です。(裏面、参照)

一年間、自分の目標(めあて)を、地道に、根気強く取り組み、達成していく経験を、一つでも多く積ませたいと考えております。それを達成していく過程で、必ず、様々な学びがあります。例えば、まず、とにかく、やってみようとする。途中で、忘れてたり、意識が薄れてしまったりすること。他の人から、褒められたり、褒められなかったりすること。しかし、それを乗り越えて、最後まで到達した達成感、等々です。結局、内容が変わるだけで、大人になっても同じではないかと考えております。まずは、あいさつから取り組みます。

本日、“とことん名人”への道を、“とことんカード”の使い方として発表したと書きましたが、その紹介は、子ども達が校舎に入る入口(全員が通るところ)に、“説明ポスター”として貼りました。かなり、目立つところです。低学年にも、分かりやすく書いたつもりです。調理室で、昼休みに配付する計画でした。関心を示し、カードを取りにきてくれるかどうかは、子ども達の出方をみました。

子ども達が、多数、押し掛けて混乱するのではないかと、いらぬ心配をしておりましたが、子ども達は、だあれも来ません。(あとから、5名、来てくれました。なんとも、有難いです。)

子ども達の心に届き、子ども達の本気を引き出すためには、まだまだ、知恵を絞りださなければならないようです。



【校舎入り口の説明ポスター】 【子ども達が押し寄せると思われていた、

昼休みの閑散とした調理室】